**第６学年　総合的な学習の時間指導案**

**１　単元名　「For the future」　～未来へのステップ～**

**２　単元の目標と評価規準**

　　様々な職業に携わる人々とのかかわりや、「働く」ことについて考える活動を通して、職業に対する視野を広げ、働く人の思いや願いを理解し、これからの生活に生かしていこうとする。また、これまでの自分を振り返り、これからの自分の生き方を考え、今の自分にできることを実践しようとする資質や能力を育てる。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 学習方法 | | 自分自身 | 他者や社会 |
| 育てたい  資質・能力 | ・課題を見付け、自己の課題を設定する。  ・必要な情報を収集し分析する。 | ・相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現する。  ・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとする。 | ・自らの生活の在り方を見直し、実践する。  ・自己の将来を考え、夢や希望をもつ。 | ・異なる意見や他者の考えを受け入れる。  ・他者と共同して課題を解決する。 |
| 評価規準 | ①自ら課題を見付けている。  ②ゲストティーチャーの話を聞き、すすんでメモを取っている。  ③「働く」ことの共通点を見付け整理している。 | ①自分の考えや将来についての思いを、プレゼンテーションソフトを効果的に活用し表現する。  ②学習したことと他教科のかかわりはを理解し、さらに活用しようとしている。 | ①将来につながる自分の良さに気づき、さらに広げようとする。  ②働くことの意義を理解し、そこから学んだことを自分の将来につなげて活用していこうとしている。 | ①ゲストティーチャーの話から、働く人の思いや願いを理解する。  ②友達と考えを共有する。  ③異なる意見や他者の意見を受け入れ、活動を進めている。 |

**３　６年生のキャリア教育目標**

1. 自分のよさに気付く力・・・・・**「自分のよさに気付きそのよさを生かそうとすることができる」よ**
2. 思いを受け止める力・・・・・・・・・・・**「肯定的な反応を返しながら話を聴くことができる」聴**
3. 思いを伝える力・・・・・・・・・**「自分の思いを受け止めてもらおうと工夫することができる」伝**
4. チャレンジする力・・・・・・・**「自分を高めるためにめあてをもって取り組むことができる」チャ**

**４　単元について**

　本校では３年前から「リアル職業調べ」を行い、将来の自分の生き方を考える学習に取り組んでいる。また、様々な職業に就く人々の講演を聴く機会もあり、将来の夢について考える機会も少なくない。

　そこで、本単元では、「未来の自分」と「今の自分」をつなげることを大切にしたいと考えている。

　本単元の中心である第２次「リアル職業調べ」を通して、様々な職業に携わる方々の話を聴き、働く人の「思いや願い」「仕事に対する姿勢」などを学ぶ。働くことを通して未来のイメージを広げ、どの職業でも共通している姿勢や思いを理解する。その中で、どの職業の人たちも、自分のよさや持ち味を生かしたり、自分を成長させたりしていることに気付くだろう。そこで、第３次では、今の自分のよさや持ち味を見つめ直す。自分の知らなかったよさや持ち味に気付き、将来に向けてこの力を伸ばしたいという思いをもたせることで、自分の夢の実現に向かって前向きにすすもうとする力を育てたい。自分のよさや持ち味を理解した上で、第４次「夢の設計図」作りを行う。自分の未来へと続く道を具体的に表したり、友達に伝わるよう工夫してプレゼンテーションを計画したりする活動を通して、他者の生き方にも関心をもち、さらに自分の将来についての考えを深められるようにしたい。

**５　児童の実態**

　６年生の児童は、最高学年として学校全体のためにやらなければならないという意識をもっている。放課後に行う奉仕活動などでも、６年生として当然の仕事だと考え意欲をもって取り組む姿が見られる。１学期に行った道徳「働くことの意義」では、働くことについて肯定的な意見が多かった。「やりがいがある」「自分のためにもなる」といった発言が学習の導入ですでに述べられていた。しかし、当然「面倒だからやりたくない」という思いもあることが予想される。

　「リアル職業調べ」を行うにあたりとったアンケートでは、自分のよさを「わからない」と答えた児童は２９名中１人であった。その他２８名は知っている・少し知っていると答えており自己肯定感の高さがうかがえ、これまで行ってきたキャリア教育の成果が出ていると言える。しかし、今もっている自分のよさと将来の夢とのつながりについての意識はまだ低いと考えられる。また、友達のよさも認め合えるよさはあるが、「これといったらこの人」と決めつけてしまい、自分の新たなよさを見付けたり、チャレンジしたりすることが苦手な児童は多い。

　5月に行った実態調査でも、肯定的な解答が多く見られた。9つの質問中7つで、否定的な解答が１０％以下という結果となっている。「自分の将来について、目標を立てている」という質問に対しては、「あまりしていない」と答えた児童が17％と最も多くなっている。これは、「将来の夢がはっきりと決まっていないから…」という理由からではないかと考えられる。「将来」＝「仕事」ではなく、生き方や考え方であることを本単元で理解させ、改めて自分の将来について目標をもたせたい。また、「自分の得意なことを伸ばすために、めあてをもって努力している」という質問に対して、「ほとんどしていない」という答えが６％とやや高くなっている。本単元で自分のよさや持ち味が、自分の将来につながっているということを認識させ、「自分の持ち味をもっと伸ばしたい！」「こんな力をこれからつけていきたい！」と前向きな気持ちを育てていきたいと考える。（下記参照　※30名在籍時）

　総合的な学習の時間については、５年生「川場タイム」で、課題を見付け情報収集・整理を行い、４年生に発表して思いを伝えるという学習を行ってきた。が、時数の関係からそれ以外では、大単元として時間をかけて取り組むことができていない。本単元では、「働く」ことの学習を通して、児童１人１人が自分と向き合い、自分の生き方をじっくりと考えることを大切にしていきたい。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | ほとんどしていない | あまりしていない | ときどきしている | いつもしている |
| 質問① | 人の話を聞くときに、相手の気持ちを考えながら聞いている。 | 0% | 3% | 40% | 57% |
| 質問② | 人の話を聞くときに、うなずいたり、返事をしたりしながら聞いている。 | 0% | 3% | 33% | 64% |
| 質問③ | 自分の思いを相手に伝えるために工夫して話している。 | 0% | 16% | 27% | 57% |
| 質問④ | 自分の長所が分かる。 | 2% | 3% | 50% | 47% |
| 質問⑤ | 自分の得意なことを生かしたことがある。 | 0% | 10% | 20% | 70% |
| 質問⑥ | 自分の得意なことをのばすために、めあてをもって努力している。 | 6% | 3% | 41% | 50% |
| 質問⑦ | 失敗をくり返さないための工夫をしている。 | 0% | 0% | 40% | 60% |
| 質問⑧ | 授業で勉強していることが将来に役立つと思う。 | 0% | 3% | 24% | 73% |
| 質問⑨ | 自分の将来について考えて、目標をたてている。 | 0% | 17% | 33% | 50% |

**６　目標にせまるための手だて**

|  |
| --- |
| **①地域（ゲストティーチャー）とのかかわり（よ・聴）**  ゲストティーチャーをお招きし、お話を聴く。様々な職業に携わる方々の話を聴くことにより、興味関心を広げるとともに、その生き様に共感させ、自分のよさや持ち味も将来の生き方の中で生かせることに気付かせ、学習への意欲を高める。  **②イメージマップの作成（聴・伝・よ）**  注目！  目！  「働く人」の共通点や相違点をグループや全体で出し合い、全体で共有させる。  自分自身のイメージマップも作成し、自分のよさを可視化できるようにする。これからの  生き様にキャリアンもつながる自分のよさを見付けたり、再確認したりする作業を毎回の学習の終末  に行い、学習のつながりをもたせる。  **③ICTの活用（伝・チャ）**  ICTマイスターをゲストティーチャーとして招き、作成方法を学ぶ。プレゼンテーション  のコツを学び、分かりやすい発表ができるよう工夫させる。１人１つの発表を行うことに  より、自分と向き合い、自分の生き方をじっくりと考えさせる。  **④学習形態の工夫（聴・伝）**  　 　　　　　自分1人で考える場面、1対1でアドバイスをする場面、グループでの話し合いなど、  学習内容に応じてグループの構成を変える。一人ひとりが自分の考えをもち、その考えを  表現することができるように学習形態を工夫する。自分のよさや持ち味を教えてもらった  り友達のよいところを伝えたりする活動を、全員が経験できるようにする。  **⑤他教科とのかかわりにつなげる学習計画の設定（チャ）**  国語「説得力のある意見」での言語活動、道徳の学習で生き方について考えること、体育  では連合運動会に向けて友達と助け合うことなど、日々の学習が自分の将来につながって  いることに気付かせることで、さらなる意欲へとつなげる。  **⑥キャリアンパスポートの活用（よ）**  ６年生の自分の姿を見つめる際、キャリアンパスポートを活用する。これまでの成長を感  じられるもの（運動会カード・日光の「生かそうbook」など）をファイリングしておき、  随時見られるようにする。本単元終了後にも、行事後に使用することで自分のよさを増や  し続けていけるようにする。 |

**７　学習指導計画(全２０時間　本時１５/２０時間目)**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 次 | 時 | 学習内容 | 手だて⑤  他教科とのかかわり | ・留意点　　○評価 |
| 第一次「将来の自分」 | 1 | ○なりたい6年生の姿を考えよう  ・キャリアンパスポートを使って、6年生前半を振り返り、どんな6年生として卒業したいか考える。 | ・１学期の振り返りや２学期のめあて決め（学活） | ○これまで自分が頑張ったことや自分の成長を振り返り、なりたい6年生像を書く。[自]  手だて⑥キャリアンパスポートを使って振り返りをする。 |
| 2 | ○将来の夢について考えよう  ・どんな大人になりたいか、将来の自分の理想像や大人になったら必要な資質や能力を考える。 | ○夢を実現しようとする意欲をもつ。[自] |
| 3 | ○働くことについて知ろう  ・“働く”とはどういうことなのか考え、家の人へのインタビュー内容を考える。 | ・目的や意図が  伝わるように  話す（国語） | ○働くことについて、興味・関心を  　もつ。[自] |
| 4 | ○働くことについて考えよう  ・家の人にインタビューしてきたことを発表し、共有する。 | ○調べてきたことを、すすんで伝えている。[他]  手だて④グループで伝え合い、全員が発言できるようにする。 |
| 5  6  7 | ○興味のある仕事を調べよう  ・自分が就きたい職業を詳しく調べる。  ・友達と自分の調べたことや思いを共有する。 | ・調べるための本（国語） | ○自分に必要な情報を収集する方法を考え、計画を立てることができる。　　　　　　　　[自]  ・学校図書館司書と連携し、図書資料を準備しておく。  ○自分が就きたい職業についての理由や内容、仕事上に必要な工夫、苦労などを相手に分かりやすく伝えることができる。[自] |
| 第二次「リアル職業調べ」 | 8 | ○事前準備をしよう  ・調べる仕事内容を決定する。  ・ゲストティーチャーにどんなことを聴きたいか考える。 |  | ○働くことについて興味・関心をもつことができる。[自]  ・3人のゲストティーチャーから20分ずつ話を聴くことを伝え、質問を考えさせる。 |
| 9  10 | ○リアル職業調べプログラムを体験しよう  ・①仕事に関すること  ②生き方・生き様に関すること  の2つの視点でプログラムを体験する。  ・ワークシートに必要なことをメモしながら話を聴く。 |  | ○仕事の内容や様子、働く人の“生き方・生き様”に気付くことができる。[他]  ○自分に必要な情報を、メモを取りながら聴くことができる。[学]  手だて①様々な職業の発見への興味を広げる。 |
| 11 | ○体験の振り返りをしよう  ・プログラムで体験したことや気付い  たことをまとめる。  ・お礼の手紙を書く。 |  | ○前向きな気持ちや感謝の気持ちを手紙の中に入れることができる。[他]  手だて①「リアル職業調べ」プログラムを通して、働く人の“生き方・生き様”について前向きに捉えさせる。 |
| 12  13 | ○働く人の共通点や相違点を考えよう  ・自分がとったメモをもとに、働く人の思いを比べイメージマップを作成する。  ・各グループで話し合ったことを全体で共有する。 |  | ○「働く人」の共通点や相違点を考え、整理する。[学]  ・「働く」ことに対する事前と事後の意識の変容をとらえられるようにする。  手だて②イメージマップを作成することで、「働く人」の共通点や相違点を可視化させ、イメージしやすくする。 |
| 第　三　次「　現　在　の　自　分　」 | 14 | ○今の自分を見つめ、自分自身のよさや持ち味の中で、将来生かしていきたいことを振り返ろう  ・自分自身のイメージマップを作成する。 |  | ○将来につながる自分のよさについて考える。  手だて⑥キャリアンパスポートを見直し、最初の考えと比較する。 |
| 15 | ○友達に自分自身について伝え、お互いの思いを伝え合う。  ・イメージマップに情報を書き加え、完成させる。 |  | ○将来につながる自分のよさや持ち味に気付き、さらに広げようとする。[自]  手だて④少人数で伝え合うことで、話しやすい雰囲気、アドバイスしやすい雰囲気を作る。 |
| 16 | ○全体に自分自身について伝えよう  ・学級全体で1人1人のよさや持ち味を共有する。  ○単元全体を振り返り、今の自分の気持ちを見つめ直そう  ・この単元の学習を体験した自分を振り返る。 |  | ・「2分の1成人式」で発表した「将来の夢」を思い出す。  手だて⑥キャリアンパスポートを見ながら、これまでの学習をふり返ることができるようにする。 |
| 第四次「夢の設計図」 | 17  18 | ○「夢の設計図」をつくろう  ・職業調べレポートとリアル職業調べを元に、自分が将来歩んでいきたい道や、大切にしたい生き方が伝わるように工夫して、プレゼンテーションソフトでまとめる。 |  | ○収集した情報を活用し、考えをまとめることができる。[学]  ・プレゼンテーションソフトを使って、相手に分かりやすい伝え方を工夫する。  手だて③相手に分かりやすいプレゼンテーションの方法を確認し、自分自身を見つめながら考えさせる。 |
| 19 | ○「夢の設計図」を伝え合おう  ・自分や友達の思いや考えを伝え合う。 |  | ○互いの気付きや考えを発表し合い、考えを共有することで自分の考えを深めることができる。[自]［コ］  ・タブレット型パソコンに映し出し、発表させる。  手だて③プレゼンテーションソフトを使って、効果的な発表をさせる。 |
| 20 | ○学習のまとめをしよう  ・夢の実現に向かって、今の自分ができることを考えて実践に結びつける。 |  | ○将来への夢をもち、今の自分がしなければいけないことを考えることができる。[自]  手だて⑥自分の夢に向かって、今の自分ができることを具体的に想像させる。 |

**８　本時の学習　(１５／２０)**

(1) 本時の目標

・自分の将来につながるよさや持ち味を再発見・再認識し、これからの自分について考える。

(2)　展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習活動 | ・留意点　　○評価 |
| 導入 | 1　前時までの流れと、本時の学習課題を確認する。  T：今日は、自分のイメージマップを完成させます。  **友達から意見をもらい、自分のイメージマップを完成させよう。** | ・ファイルを配布し、前時までの流れを確認する。 |
| 展開 | 2　自分が作ったイメージマップについて話し、グループの友達と互いに相手のよいところや特技、好きなことを伝え合い、自分について再発見・再認識する。  T：各グループで自分について伝え合います。  　 １人の人が発表したら、その人についてグル  ープで話合いましょう。  C：私のよさは、明るいところです。ピアノが得意という特徴もあります・・・。 これで私のイメージ紹介を終わります。  C：○○さんは字がきれいだからそれも入れるといいと思います。  C：いつも声かけしてくれるから、優しいっていうのも入れた方がいいと思います。  3　友達からの意見を書き加え、イメージマップを完成させる。 | ・全員が発表し、グループ全員からたくさんの意見がもらえるよう時間を確保する。  ○自分のよさを相手に分かりやすく伝えることができる。[自]  Y:\Data\ikou\004　校内研究\平成28年度\指導案\顔だけキャリアン.pngY:\Data\ikou\004　校内研究\平成28年度\指導案\顔だけキャリアン.png手だて④少人数で伝え合うことで、話しやすい雰囲気、アドバイスしやすい雰囲気を作る。  手だて②イメージマップを使用し、自分のよさや特徴を可視化できるようにする。  ○友達の発表をよく聴き、友達のよさに目を向け、自分の考えを伝えることができる。[他]  ・時間があれば、友達からの付け加えを含めたものを全体の前で発表させる。 |
| まとめ | 4　本時の学習の振り返りをする。  T：イメージマップについて友達と交流し、どのように感じたかを発表しましょう。  C：自分では考えつかなかった自分のよさを教えてもらえたのでよかったです。  C:自分では、悪いところだと思っていたことを逆にいいところと言われてびっくりしました。  C:○○がよいと言われてうれしかったので、もっと頑張りたいと思いました。 | ・自分自身のことや友達について、再発見・再認識したことや、感想、応援などを発表するように伝える。  ○将来につながる自分のよさに気づき、さらに広げようとする。[自] |